

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 03-6734-2939																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウェディング科				平成22年文部科学大臣告示第31号																			
学科の目的	結婚式場を備えたホテル及び結婚式場のスタッフ、衣裳コーディネーターなどブライダル産業に幅広く関わり、活躍できる人材の育成を目指す。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																	
	2年	昼間	2000時間	600時間	1230時間	480時間	0時間	0時間																	
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数		兼任教員数		総教員数																	
80人		68人	0人	2人		15人		17人																	
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価																			
長期休み	■夏季:8月8日～9月11日 ■冬季:12月24日～1月10日 ■春季:3月14日～4月3日				卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。				課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																			
就職等の状況	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ホテル、ブライダル、旅行業界など				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)																			
	■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター検定</td> <td>③</td> <td>53人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカリスト検定3級</td> <td>③</td> <td>53人</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>マナープロトコル検定3級</td> <td>③</td> <td>54人</td> <td>51人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	53人	51人	パーソナルカリスト検定3級	③	53人	53人	マナープロトコル検定3級	③	54人	51人
	資格・検定名	種	受験者数	合格者数																					
	アシスタントブライダルコーディネーター検定	③	53人	51人																					
パーソナルカリスト検定3級	③	53人	53人																						
マナープロトコル検定3級	③	54人	51人																						
■卒業者数: 54人 ■就職希望者数: 54人 ■就職者数: 54人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100%				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																					
■その他 ・進学者数: 0人				■自由記述欄																					
(平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)																									
中途退学の現状	■中途退学者: 1名 平成28年4月1日時点において、在学者95名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者94名(平成29年3月31日卒業者を含む)		■中途退学率: 1.8%		■中途退学の主な理由 経済的理由による学業継続困難等																				
■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。																								
■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科のホームページURL	http://www.asojuku.ac.jp/aftc/subject/bridal/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実施する、8週間のホテル実習と2週間のブライダル実習を通してブライダル業界において必要とされる知識・技能を習得する。

実習内容については、卒業に対する「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、業務内容・実習期間・評価方法を明確に定める。その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。

実習終了後は企業からの評価を受け、成績評価をする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とし、審議の内容をカリキュラム検討会議に報告。

報告内容は授業科目の改善、新規開設に反映し、常に業界で必要とされる知識・技能の習得が可能となる質の高い教育を提供できるようにする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H29/4/1～H30/3/31	①
古賀 三和子	(株)アルカディア 人事課長	H29/4/1～H30/3/31	③
安藤 大介	高見(株) 九州営業部 部長	H29/4/1～H30/3/31	③
郡島 奨	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	H29/4/1～H30/3/31	
東 まゆみ	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	
中村 直輝	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:50～17:10

平成28年度 第2回 平成28年10月20日 16:10～16:50

平成29年度 第1回 平成29年6月21日 17:00～17:30

平成29年度 第2回 平成29年10月18日 16:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

ブライダル業界における人材育成として、ホテル実習8週間とブライダル実習2週間を、カリキュラムとして取り入れることで、業界に必要な知識とマインドを総合的に学習している。

ブライダル業界は新規企業の台頭が著しく、業界のニーズに適した実習になっているかを確認してもらった。

ホテル実習は問題ないが、ブライダル実習は受け入れいただく企業によっては、実習生を指導する体制が整っていない場合もあり、実習内容及び学生の達成度に差があるのではないかと意見があったため、実習成果の到達度を平均化するための細やかな実習プログラムを検討している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。

その内容については、将来ブライダル業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業と学校により、教育カリキュラムの設定、変更にあたっては事前に協議を行い、企業が選任した講師による実習・演習を実施し、評価としては期間中の勤務状況などを踏まえた総合評価を事前確認している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	企業連携により実施する、8週間のホテル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また配属された部署を通して、ホテル組織の仕組みや部署間の連携を学ぶ。	セルリアンタワー東急ホテル、京都ブライトンホテル、神戸ポートピアホテル、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
ブライダル実習	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また各ブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ。	アイ・ケイ・ケイ(株)、(株)テイクアンドギブ・ニーズ、アルカディア、洲上ファインズ等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、更に即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。

定期的実施されるホテル系関連団体の会合等に参加し、業界に関する情報交換やトレンドの研究を把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・全国宴会支配人協議会(一般社団法人九州BMC)の賛助会員として年数回の定例会
- ・公益社団法人日本ブライダル文化振興会(BIA)主催のブライダル・コーディネーターの検定試験に関する研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・人事課実施の研修 中堅教職員研修、キャリアデザインワークショップ研修 他
- ・インプレッショントレーニング

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・賛助会員として年1~2回開催予定の案内あり
- ・人事課実施の研修 教授法: インストラクショナルデザイン(教育指導計画の作成方法)他

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・アクティブラーニング研修
- ・メンタルヘルス研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公開することにより、開かれた学校作りをおこなう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他

(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

カリキュラム策定においては、企業等の外部関係者との連携を更に充実させるため、連携企業の選定も含め体制強化を今後も引き続き実施していくこととした。また、他の高等教育機関との連携を推進する等の改善を行っていくこととした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科2年生 保護者	H28/4/1～H30/3/31	保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
高島 妙美	平成21年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H29/4/1～H31/3/31	自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校	H29/4/1～H31/3/31	校長
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H29/4/1～H31/3/31	団体
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H29/4/1～H31/3/31	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
長 加奈子	福岡大学 准教授	H28/4/1～H30/3/31	教育機関
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長	H29/4/1～H31/3/31	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	H29/4/1～H31/3/31	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H29/4/1～H31/3/31	企業

能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当	H28/4/1～H30/3/31	企業
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H28/4/1～H30/3/31	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H28/4/1～H30/3/31	企業
藤田 敦子	ロイヤルホールディング株式会社 人事課長	H29/4/1～H31/3/31	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H28/4/1～H30/3/31	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ 毎年9月)
URL:<http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校法人の沿革、教育の目標、学則、諸規程
(2)各学科等の教育	学科の教育方針、年次別目標、目標資格、カリキュラム、進級・卒業要件、他
(3)教職員	教員一覧、専任・兼任教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	グローバルシティズンベーシック、インターンシップ、教育課程編成委員会
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、ボランティア活動、クラブ活動
(6)学生の生活支援	臨床心理士による学生相談室、ハラスメント相談、留学生支援、障がい者支援
(7)学生納付金・修学支援	金額・納付時期、分割納入制度、授業料減免、奨学金、被災地支援
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生専用学生寮
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
パンフレット、募集要項、学生便覧、Webサイト
URL:<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ウエディングセレモニー論Ⅰ	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	20	1	○			○	○			
○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	1後	20	1		○		○	○			
○			ホテル概論	ホテルの歴史、組織、婚礼部門の業務内容などを体系的に学ぶ	1前	20	1	○			○	○			
○			ブライダルメイクA	ブライダル業界で働く上で必要なメイクを学ぶ	1前	20	1			○	○			○	
○			ブライダルメイクB	ブライダル業界で働く上で必要なメイクを学ぶ	1後	20	1			○	○			○	
○			ブライダルフラワーⅠ	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	1前	20	1		○		○	○			
○			ブライダル衣裳	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1後	20	1	△	○		○			○	○
○			ブライダル接客演習Ⅰ	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	20	1	△	○		○	○			
○			カラーコーディネート演習A	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1前	20	1		○		○			○	
○			カラーコーディネート演習B	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1後	40	2		○		○			○	
○			レストランサービス演習	レストランウエディングや披露宴での料理、飲物のサービスについて学ぶ	1前	40	2	△	○		○			○	○
○			バンケット演習	披露宴会場でのサービスを想定し、婚礼料理や飲み物の知識を学ぶ	1後	20	1		○		○	○			
○			ブライダル産業演習A	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界への現状の理解を深める	1前	20	1		○		○	○			
○			ブライダル産業演習B	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界への現状の理解を深める	1後	20	1		○		○	○			

○		Windows演習	パソコンの操作技能を活かし、より実務的な文書の作成能力を身につける	2後	30	2		○	○	○								
○		Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	2前	45	3	△	○	○	○								
○		サービス介助	高齢者や障害者へのサービスにおいて必要な、ケアの基本的動作を学ぶ	2後	30	2	△	○	○									○
○		GCB II	志について学ぶ	2前	15	1	○			○								○
○		英会話	社会人として必要な日常英会話表現を学ぶ	2後	30	2	△	○	○									○
○		手話	手話でコミュニケーションを取るための基本を学ぶ	2後	30	2	△	○	○									○
	○	A	プランナー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ（選択必須の4つから1つを受講）	2後	90	6			○								○
	○	B	ドレス演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、衣裳選定や着付けを学ぶ	2後	90	6			○								○
	○	C	ビューティ演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、メイク・ヘア・ネイルなど花嫁をトータルに演出するアイテムを学ぶ	2後	90	6			○								○
	○	D	フラワー演習（選択必須）	模擬結婚式に向けて、ブーケ・会場装花の演出について学ぶ	2後	90	6			○								○
○			イラストレータフォトショップ	ブライダル商品の販売・広報用ツールとしての画像処理方法や活用方法を学ぶ	2後	30	2			○								○
合計				57科目				2000単位時間(102 単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週